

- 所在地：宇佐市四日市1574-1
- TEL：0978-32-1154
- 指 定：大分県
- 運営主体：社会福祉法人大分県社会福祉事業団
- 支援体制：就業支援ワーカー 2人
生活支援ワーカー 1人
- 沿 革：2005年開設



障害者就業・生活支援センター サポートネットすまいるとは

雇用、保健福祉、教育等の関係機関と連携しながら、就職したいと願う障がい者の要望を聞き、就職するまでのサポートをしたり、就職後のフォローアップ、障がい者受け入れ企業の開拓などを行っている。

また障がい者の日常生活、社会生活を行う上での相談・支援を行う。現在は約230人が登録し、月におよそ50人が当センターを利用。

障がい者に対する支援

■ 就業面での支援

どういう仕事をしたいのかや、希望する待遇などを聞き取り登録した後、職業経験のない人や訓練が必要な人には、提携施設等の職業訓練をあっせんする。職業評価を受けたあと、ハローワークを通しての就職活動をサポート。就職後はフォローアップのため、職場を定期的に訪問し、悩みや課題等の把握に努めている。

■ 生活面での支援

週2回の夜の家庭訪問と、月1度の日曜日の日中訪問を行い、悩み事や困っていることを聞いている。料理の味付けがわからない、掃除ができないなど、生活に影響のある人にはヘルパーの手続、各種制度利用の申請手続きなどを支援。このほか、年4回程度、料理教室や悪徳商法の手口や解決策を学ぶ勉強会などを開催している。

企業に対する支援

障がいの状態によって対応が異なるので、それぞれの特徴を知らせ、どのような作業が向いているとか、言い回しなど細かい部分でサポート。

障がい者を受け入れた場合の助成金制度や業務管理についてのアドバイスをしながら、受け入れ拡大につながるよう支援している。

就業支援のプロセス(成功事例)

就労移行支援事業のサービスを受け、就職に向けて訓練を続けていた女性が、一般就労への移行に向け、ハローワークで仕事をさがし、トライアル雇用制度を利用して、料亭で皿洗いの仕事を行った。

社長及び従業員の障がいに対する理解と彼女の頑張りが実を結び、そのまま研修先の料亭での就職へとつながった。

担当者コメント

就業支援担当 津島 伸一郎さん

企業を訪問して感じるのは、福祉と労働のギャップがまだまだ大きいということ。企業は利益を追求しなければならず、その中で障がい者を雇用することは勇気がいります。その不安を解消するためにも、両者の橋渡しの機能を有する同センターの役割は大きいと感じています。

障がいがあっても「働く・働き続けることができる」ことを地域に発信し、障がい者だから仕事は任せられないという認識を払拭してもらうためにも、実習からでもいいので、働きたいと希望する障がい者にチャンスを与えてほしいと思います。

私たちも障がい者雇用がますます拡大していくよう積極的に活動していきたいです。